

Today's Mission

メール、ライン、ツイッターなど、さまざまなメディアや SNS が発展する中、“文字を書く”という習慣が段々と少なくなってきたように感じる今日この頃。①確かに、直接書くよりも手紙で時間もかかりません。②特に、“手紙を書く”という機会はかなり減っているのでは…？私は、手紙を大切にしています。手紙を読むと、その人自身が書いた文字を通して、より想いが伝わってくるように感じます。私自身も、手紙を書くときは1文字1文字に私なりの想いを込めて書くようにしています。会話とはまた違った、生きたコミュニケーションを味わうことができる瞬間。“手紙”という文化に、思いをはせてみませんか？



今回は『徒然なるままに…vol.3』からの出題です。今回は“和文和訳”がポイントとなります。主語は…？主語に対する動詞は…？特に下線部②は、できるだけわかりやすい日本語にしてから取り組むとよいでしょう。

答えの投稿は、下記のアドレスまで！休校期間中の課題の質問も受け付け中！

徒然なるままに…

ふと大学生の頃を思い返すときがあります。今回は、大学生活に関することや、それに派生した内容をツラツラと書き残します。紙面の都合上、本当に極々わずかししか書くことはできませんが、これから向かう先がどのような場所なのか、1つの参考に…。大学生になると、高校までと比べると、かなり自由度が高まります。自分に必要な授業を自ら選択し、授業の時間割を組んでいきます。授業が連続することもありますが、基本的に授業がない時間（いわゆる“空きコマ”）は自由になります。レポートなどの課題をしたり、図書館を利用して過ごしたり、自宅が近ければ1度自宅に戻ってゆっくりしたり、… 過ごし方はまさに千差万別。長期休暇には、一人旅や友人と旅行するなど、じっくりと観光する機会も持つことも可能になります（長期休業中の集中講義や、実習、実験など、空き具合は所属するところによって変わりますが）。なるほど、確かに自由度が高く、高校生までの立場から眺めると、羨ましくも思えてくる内容かもしれません。しかし、本当の意味で大学生活を充実させるためには、忘れてはならない心がけと、欠かせないスキルが存在します。私が挙げるとすれば、次の2点です。

① “自由”には“責任”が伴う ⇒ “自由”と“自分勝手”は違う。

② 計画性を持って行動するスキル ⇒ 感覚的には、高校生よりも早く時が過ぎ去る。

大学生は、大学生活や余暇の過ごし方、アルバイトなども含め、基本的に自分でスケジュールを組んでいくことがほとんどです。自分で“自由”に決めるということは、自分の決定に“責任”が伴うことを意味します。必要な授業だったのに、見落としていた… 必要なことを次々と先送りにして、目の前の安楽に浸ってしまった… 自分で足を運んで情報を集めておけば… 自分の行動が、直に自分に返ってくる世界です。必要なことを毎回連絡してくれる担任もいません。連絡事項や必要な情報等、自分でつかんでいかねばならない世界です。

そのため、計画性を持つことは大切です。時には、無為に過ごすのも悪いことではありません。ずっと分刻み、秒刻みでスケジュールをこなしていくと、流石に疲れますよね。ただ、意味もなく毎日をただただ過ごすだけになってしまうと、大学生活の意義は大きく失われてしまうことでしょう。大学は教育機関である、ということは忘れないでください。

大学生活は、すべてが新しい世界だ、と思うかもしれませんが、実は、大学生活で求められる力、活用できる力は、高校生活までに概ね習得できるものです。課題への取り組み、問題を解決する姿勢、計画的な行動、与えられたことだけではなく、いかに+αの取り組みができるか… 大学で有意義でスムーズな生活がスタートできるかどうか… 実はすでに問われている真っ只中なのです。

大学に合格することが最終ゴールではありません。また、就職に関しても、就職先に合格することが最終ゴールではありません。希望先に駒を進めたうえで、“今までに培った力を、どう生かして人生を充実化していくのか”さらに言えば、“今までに培った力を活かして、どのように社会貢献をしていくのか”… これが何よりもポイントなのではないでしょうか。そして、それを実現させるには“今の自分”も問われてきます。初めから“結果論（受かったからそれでいい）”を求めず、目の前のやるべきことをしっかりとこなし、各々の+αに取り組み、1日1日を大切に歩んでいってください。（大学の話の続きは、SHRやLHR等で！）

～ 進路希望を成就させ、進路先でもそれぞれの輝きが持てるように ～

[35 回生投稿窓口・35 回生質問受付窓口 takatsuka2019@gmail.com](mailto:takatsuka2019@gmail.com)

（件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。：気の向くままに vol.0 参照）

（投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します）